第４回Woodyコンテスト

里山で子育てを楽しむ住まい

《設計趣旨》

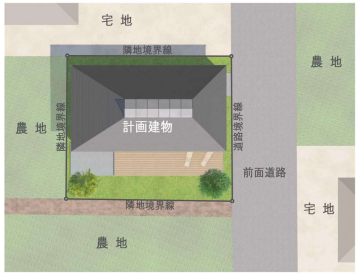
本提案は、京都の里山と呼ばれる京都市の京北地域や南丹市美山町周辺を中心とした、自然豊かな所でのびのびと子供を育てるために移り住む家族のための住宅を想定しています。

ＣＬＴ板（直交集成板）を構造材として使いつつ、古民家が残るような地域の風景にも馴染む意匠の住まいを提案します。

新たな建材として注目されているＣＬＴですが、京都府内でも大型加工施設の整備が進められており、府内産ＣＬＴ板を用いた住宅が一般的になる日もそう遠くないと考えられます。

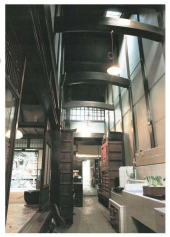
CLT板（引用：日本CLT協会）

京北地域・美山町周辺を中心とした京都府中部～北部はリモートワークを活用すれば京都市内中心部の企業に勤めながら里山暮らしを両立する事も考えられます。



敷地周辺イメージ　Scale= 1：250

▲美山町の茅葺き民家
（引用：(社)南丹市美山観光まちづくり協会）



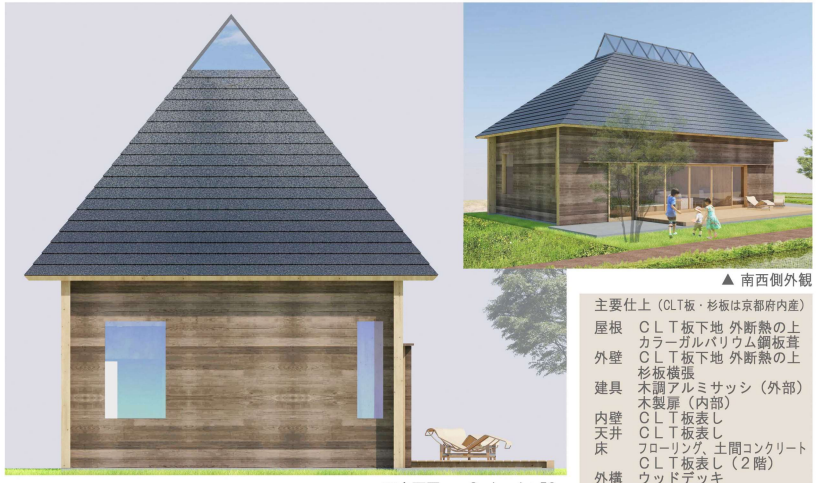
京町家の通り庭
（小泉邸住宅 引用：別冊太陽113号）

１階平面図　Scale= 1：50

２階平面図　Scale= 1：50

《建築概要》

敷地面積	200.77㎡（60.73坪）
建築面積	81.15㎡（24.54坪）
１階床面積	80.24㎡（24.27坪）
２階床面積	20.28㎡（ 6.13坪）
延床面積	100.52㎡（30.40坪）
最高高さ	8.86m
軒高さ	4.50m
主体構法	ＣＬＴパネル構法
基礎形式	直接基礎

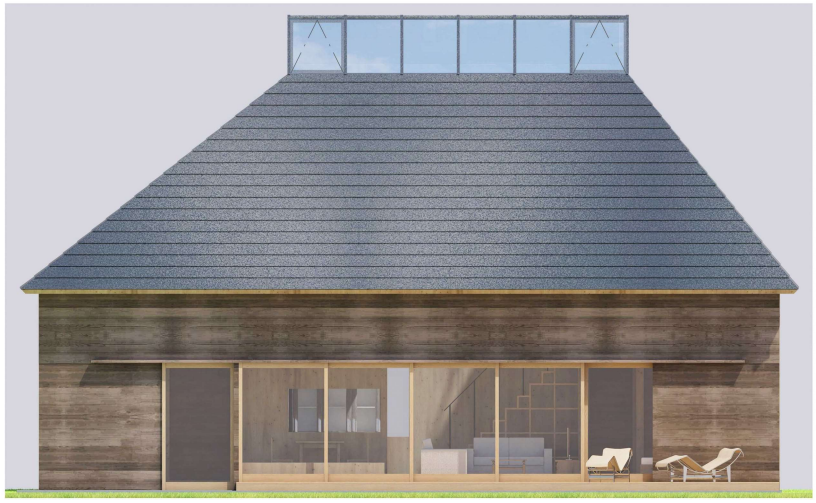


西立面図　Scale= 1：50

▲ 南西側外観

主要仕上（CLT板・杉板は京都府内産）

屋根	ＣＬＴ板下地 外断熱の上 カラーガルバリウム鋼板葺
外壁	ＣＬＴ板下地 外断熱の上 杉板横張
建具	木調アルミサッシ（外部） 木製扉（内部）
内壁	ＣＬＴ板表し
天井	ＣＬＴ板表し
床	フローリング、土間コンクリート ＣＬＴ板表し（２階）
外構	ウッドデッキ



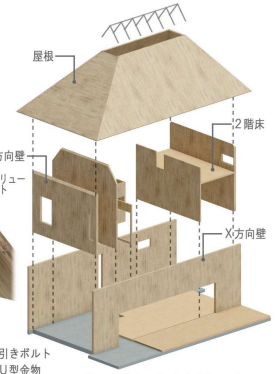
南立面図　Scale= 1：50

A-A’ 断面図　Scale= 1：50

▲ 北東側外観

▲ 玄関より通り土間(北)を見る

▲ キッチンより通り土間(西)を見る



ＣＬＴ板による架構モデル

ＣＬＴパネル構法
（Cross Laminated Timber、直交集成板）

板の層を各層で互いに直交するように積層接着されたＣＬＴ板は、現在最大３ｍ×１２ｍのパネルが製造可能で、構造的にシンプルかつ施工期間も短縮できるメリットもあります。
断熱性・気密性にも優れ、曲り材など製材に不向きな木材も活用できるため、森林資源の有効活用につながります。
板状材料の特性を活かし、大開口を設けることも可能です。

本計画は京都府内産木材(スギ･ヒノキ･アカマツ）を用いたＣＬＴ板を屋根・壁・床の構造体に用い、内装仕上げとして表す事で、木に囲まれた大空間での家族の暮らしを提案します。